

# 町政を問う！



藤本 浄孝 議員

## 米軍機騒音の 町内調査状況について

**問** 米軍艦載機移駐の本格化に伴い増大する騒音に対する独自調査や町民への情報提供について今後の方針についてどのよう  
な計画があるか。

特に屋代地区は山に囲まれ、反響し騒音が大きいのではという声が多い。今後、更に騒音が増大するという懸念があり、町内の地形等による騒音量の差異をどのように把握し、対策を行う方針であるかを問う。

**答** 年度内に屋代・小松地区及び伊保田地区の2箇所騒音測定器を増設。また協議や要望については行政報告にて適正に報告を行う。



屋代川 吉井橋付近

空母艦載機移駐後の運用が安定次第、騒音調査を実施し適切に対応する。騒音の実態が明らかになることが重要であると認識し、引き続き騒音状況の把握に努める。

## 屋代川流域の環境保全について

**問** 屋代川流域の保全管理について、雑木、雑草に溢れ、河川と見分けがつかない箇所が散見され、ゴミの不法投棄もある。自治会や住民の努力も保全、美化が追い付かない状況である。県が管理する河川流域の倒木、雑草対策、不法投棄対策、防災対策について今後の方針を問う。

また、屋代川水系鮎の生息地

としての環境保全を求め、認識を問う。

**答** 県は河川の巡視点検結果や土地利用状況から治水上の緊急度を勘案し、本年度も土砂や倒木撤去を実施予定であるが、県当局に対しては、今後も引き続き予算確保を強く要望する。

なお、不法投棄対策については、河川監視員の巡視を毎月2回以上行っている。

屋代川水系鮎については漁業権が設定されていないことから本格的な生態調査は実施されていない。よって、県水産研究センターの動向を注視する。

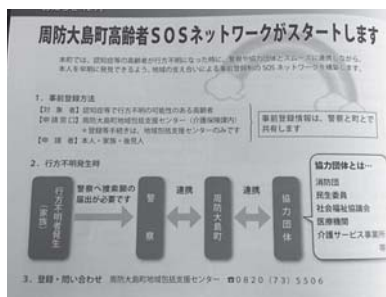
屋代川流域に限らず、生活環境全般にわたる保全などは、今後もしっかりと対応していきたい。

## 町内での行方不明者の 捜索について

**問** 認知症等による行方不明は人命に関わる住民への危機管理であり捜索態勢の現状について方針を問う。また、防災無線での捜索協力における個人情報管

理や長期休暇時における警察対応等の対策、更に行方不明を未然に防ぐGPS発信機の貸し出しについて方針を問う。

**答** 社会全体で認知症の方やその家族を支える地域包括ケアシステムの構築、個人情報の取り扱いという課題に対し、本年10月31日に事前登録制のSOSネットワークをスタートさせた。行方不明になる可能性のある方を事前に登録し、警察・協力団体・町で情報共有を行う。GPS発信機等の貸し出しについては常時監視の個人情報問題もあるため、活用には検討が必要であり、家族間の利用を求めたい。引き続き講習会等、様々な形で情報提供を行いたい。



事前登録制のSOSネットワークのお知らせ